

令和6年11月5日

報道機関 各位

富山大学研究発表会「TOYAMA Academic GALA 2024」 の開催について

富山大学では、本学教職員等の異分野研究の融合と産学連携を目的として、「TOYAMA Academic GALA 2024」を開催いたします。本イベントでは、様々な分野で活躍する本学の53名の研究者が、自身の研究成果についてショートプレゼンテーション及び、ポスター発表を行います。ポスターのコアタイム発表時には、研究者との交流会も予定しております。また、研究発表会場内には、学内の様々な取り組み展示ブースも設置いたします。

つきましては、本件について取材・報道方よろしくお取り計らい願います。

記

- 日時 令和6年11月6日（水） 9時00分～17時15分
 - ・研究発表ショートプレゼンテーション 13時00分～15時30分
 - ・ポスター・成果物のコアタイム発表 16時00分～17時15分
 - ・学内の様々な取り組み展示ブース 9時00分～17時15分
- 場所 富山大学五福キャンパス学生会館（富山市五福3190）
金森産業ホール・スギノマシンラウンジ
- 発表者 富山大学教職員，大学院生
- 参加対象 富山大学教職員，大学生・大学院生他機関研究者，企業・行政の担当者
- 申込方法 事前申込不要・入退場自由

【本発表資料のお問い合わせ先】

富山大学研究推進部研究振興課（担当：亀谷，滝本）

TEL：076-445-6388 Email：kenshin@adm.u-toyama.ac.jp

富山大学 研究発表会 *Toyama Academic GALA 2024*

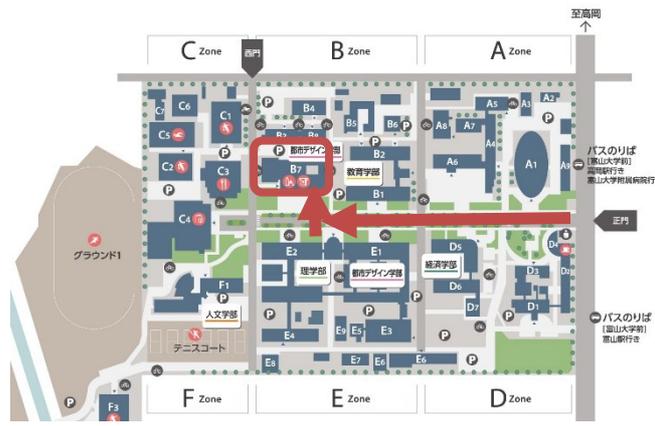
参加者申し込み不要
入場無料
入退出自由

開催日
時間
会場
対象

2024年
11月6日(水)
9:00~17:15
富山大学五福キャンパス

○研究発表.....13:00~15:30
金森産業ホール(旧学生会館ホール)

○ポスター・
成果物(作品)の展示.....9:00~17:15 ※16:00~17:15にコアタイム発表を実施
スギノマシンラウンジ(旧学生会館ラウンジ)



会場:学生会館内

発表者:富山大学教職員, 大学院生
参加者:富山大学教職員, 大学生・大学院生他機関研究者, 企業・行政の担当者

Toyama Academic GALA 2024の概要

1. Toyama Academic GALAとは

富山大学の研究者等が部局を越えて異なる分野の様々な視点から活発な意見交換を行うことにより、研究活動や相互交流の促進、ひいては共同研究のきっかけの場を創出することを目的として、毎年開催しているものです。Toyama Academic GALA 2024では「研究発表」と「学内の様々な取り組み展示ブース」を予定しています。

2. 研究発表スケジュール

- 9:00～ ポスター・成果物の展示 開始
- 13:00～14:15 研究発表ショートプレゼンテーション（第1部）
- 14:25～15:30 研究発表ショートプレゼンテーション（第2部）
- 16:00～17:15 ポスター・成果物のコアタイム発表

※発表者・発表内容については、概要集をご覧ください。

研究発表は全て事前予約不要・参加自由です。

コアタイムでは、軽食も準備しますので、気軽に会場にお立ち寄りいただき、是非、異分野研究者と交流ください。



【昨年の様子】

3. 学内の様々な取り組み展示ブース等（終日 9:00～17:15）

ラフカディオ・ハーン紹介ブース



本学にはラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の旧蔵書2,435冊を所蔵したヘルン文庫があり、本学中島淑恵教授（人文科学系）はハーン研究において第一線でご活躍されています。ブースでは所蔵品や先生の研究について紹介します（なお、ハーンの妻、小泉セツをモデルにした、NHK連続テレビ小説「ばけばけ」が、来年の下半期に放映予定です）。

技術職員活動紹介ブース

富山大学では、教職員をサポートする技術職員が日々活躍しています。今回のGALAでも複数の技術職員が研究発表を予定しています。本ブースでは、「技術職員が日頃どんな仕事をしているのか？」等について紹介いたします。

TONIO紹介ブース

富山大学のすぐ近くに、TONIO（新世紀産業機構）があることをご存じでしょうか。TONIOは、県内企業と研究者等をつなげ、共同研究を支援する取り組みも行っており、ブースでは様々な取り組みを紹介いたします。

URA・コーディネーター 活動紹介ブース

富山大学のURA・コーディネーターは、本学研究者がよりよい環境で研究が推進できるようマネジメントに取り組んでいます。具体的な活動内容については、是非ブースにてお問合せください。

マッチングコーナー設置とURAによる ネットワーキング

分野が異なるとどうも話題が見つからないと思っておられる教職員の方。そんなことはありません。当日は研究の垣根を超えて、URAを介して（介さなくとも）気軽に交流ください。

Toyama Academic GALA2024 発表テーマ一覧表

分野	所属	役職等	氏名	発表テーマ	ショートプレゼン	コアタイム発表
①創薬・ヘルスケア	薬学・和漢系	助教	中尾 裕之	人工的な細胞膜脂質フリップフロップ促進による非対称性の崩壊	○	○
	薬学・和漢系	助教	稲田 祐奈	健常高齢者におけるウェルビーイング亢進メカニズムの解明	○	○
	薬学・和漢系	助教	井上 大輔	脳内生理機能を利用した鼻から脳への効率的薬物送達法の開発	○	○
②医療・保健	医学系	教授	伊藤 哲史	「ことば」音認知とその障害の神経基盤の解明	○	○
	医学系	特命助教	武島 健人	多職種協働学習における関係性と貢献の最適化：混合研究	○	○
	医学系分子医科薬理学講座	特命助教	Mariam Karim	Decreased NAD+ levels during early life negatively impact on skeletal muscle function in aged mice	○	○
	医学系免疫学講座	研究員	Abdul Hayee	MR1-restricted TCRs from TILs of Breast cancer patients	○	○
	医学系	准教授	藤坂 志帆	腸内細菌を介したメタボリック症候群の予防に向けた研究	○	○
	医学系	准教授	長岡 健太郎	COVID-19感染早期免疫応答の解明と 画像診断法の確立	※	
③生命科学	教育研究推進系	特命助教	KHALED ADEL ABDELRAHMAN GHANDOUR	Hippocampal Engram-to-be Cells Emerge Through Neural Coactivity During Idling States to Encode Future Learning.	○	○
	薬学・和漢系	特命助教	荒木 雅弥	中鎖脂肪酸が生活習慣病を改善する機序の解明	○	○
	医学系	准教授	吉田 知之	マイクロエクソソームの取捨選択によるシナプス形成と行動の調節	○	○
	医学系	准教授	宮本 大祐	睡眠と性差が情動記憶に与える影響の解明と前頭前皮質への投射細胞のマルチファイバーフォトメトリー	○	○
	工学系	特命助教	小池 誠一	オルガネラ改変による加齢卵子の若返りを目指して	○	○
	医学薬学教育部 博士後期課程 薬科学専攻	大学院生	影山 哲平	精製したTMEM16Fを用いたリン脂質およびイオンの輸送解析		○
	杉谷地区事務部総務課分子神経科学講座	技術専門職員	和泉 宏謙	妊娠期グルコシネート曝露による発達期シナプス病態の解析	○	○
	医学薬学教育部 博士課程 薬学専攻	大学院生	大沼 逸美	Srcの新規活性化マーカーと活性制御機構	○	○
	工学系	准教授	迫野 昌文	安全なゲノムの書き換えを実現する DNA結合タンパク質の開発	※	
	薬学・和漢系	准教授	千葉 順哉	クリックケミストリーを利用した新規人工核酸の開発		○
	薬学・和漢系	助教	山村 良美	熱帯性薬用植物の有用成分を精密に作り分ける機構の解明	○	○
	生命融合科学教育部 博士課程 認知・情動脳科学専攻	大学院生	平山 瑠那	マウスに移植したラット卵巣由来の卵子からの産仔作製法	○	○
	医学系	助教	藤井 一希	負のリン酸化シグナル調節因子 AKAIN1がアルツハイマー型認知症病態に果たす役割の解明	○	○
	研究推進部研究開発課生命科学先端研究支援ユニット動物実験施設	技術職員	宮田 実咲	脳由来神経栄養因子 (BDNF) の発現低下は非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) 様現象を誘導する	○	○
	薬学・和漢系	講師	和田 努	肥満病態に対する治療戦略としての可溶性CD52の可能性	○	○
④数物科学・化学	理学系	特命助教	高森 敦志	弱い相互作用制御による発光性銅錯体の高機能化	○	○
	都市デザイン学系	准教授	川崎 一雄	呉羽山礫層の古地磁気層序	○	○
	理学系	助教	吉野 惇郎	カルベン-ピリジン型配位子を有する固相光応答着色性ポロニウム錯体の開発	○	○
	理学系	講師	横山 初	新時代を切り拓くパラジウム触媒と反応機構研究	○	○
	理工学教育部 博士課程 新エネルギー科学専攻	大学院生	大澤 周平	将来加速器実験における3点ヒッグス結合	○	
⑤人文・社会科学	人文科学系	教授	中島 淑恵	へるん文庫から世界へーラフカディオ・ハーン研究の現在ー	○	○
	人文科学系	特命助教	須永 修枝	日英の移民・難民政策とマイノリティの起業環境	○	○
	人文科学系	講師	笠根 唯	富山から太平洋へ？ー19世紀の漂流者とアメリカ文学	○	○
	人文科学系	准教授	田部 知季	明治期高岡の俳句結社、越友会の研究	○	○
	芸術文化学系	講師	田邊 元	祭りの継承に関わる人びとと組織のあり方に関する人類学的研究：北陸地域の獅子舞を対象として	※	
⑥カーボンニュートラル	理学系	特命助教	小林 英貴	富山湾の海洋物質循環モデル構築と陸水流出の影響評価	※	
	工学系	特命講師	何 英洛	二酸化炭素水素化反応用いた新規鉄系触媒の開発	※	
	工学系	特命助教	保田 修平	炭素循環に向けたC1化合物転換用固体触媒の開発	○	○
⑦軽金属・材料	都市デザイン学系	特命助教	加藤 謙吾	アルミニウムリサイクル合金中不純物の新規除去原理の創出		○
	都市デザイン学系	特命助教	真中 智世	レーザー熱加工による高硬度高耐摩ステンレス鋼の創製	○	○
	都市デザイン学系	講師	附田 之欣	サステナブル軽金属蓄電池用負極材料の研究開発	○	○
⑧電気・電子・機械・情報工学	理工学教育部 博士課程 数理・ヒューマンシステム科学専攻	大学院生	Asad RAZZAQ	Evolutionary design of artificial swarms as sustainable systems	※	
⑨データサイエンス	社会科学系	特命助教	松本 知己	マルコフ連鎖モンテカルロ法の並列化に関する研究		○
	都市デザイン学系	特命助教	神野 拓哉	雲の自己組織化の表現に向けた2次元格子モデルの構築	○	○
⑩文化財保護	芸術文化学系	特命助教	井上 祥子	三次元計測機器により取得した点群データの活用についてー形状の保存とその先へー	○	○
	芸術文化学系	特命助教	三上 拓哉	伝統舞踊および熟練工の身体動作の記録および解析に関する研究		○
⑪異分野交流	医学系	助教	松本 惇平	動物の社会行動解析技術の開発	※	
	理工学研究科 数理情報学プログラム博士前期課程	大学院生	荒井 智樹他2名	エピソード記憶能力を長期間にわたって評価するための生成系AIによる学習課題画像の自動生成		○
	医薬理工学環 医療デザインプログラム博士前期課程	大学院生	嘉指 混介他4名	長時間の電気生理学的解析を高効率で成功させる遅延穿孔パッチクランプ法の開発		○
⑫その他	教育学部	研究員	成瀬 喜則	教師の授業改善意欲を向上させるための教材の開発		○
	理学系	特命助教	鹿児島 涉悟	火山・地震活動に関する地球化学的研究	○	○
	五福高岡地区事務部 理工系総務課材料デザイン工学科	技術職員	城戸 良介	複合現実技術の教育研究支援		○
	五福高岡地区事務部理工系総務課 工学科知能情報工学コース	技術専門職員	丸山 博	Google Apps Scriptを用いた健康データ取得システム構築		○
	芸術文化学系	特命助教	新谷 仁美	古代の流通を考えるー古代官道と工芸材料ー	○	○

※は、発表者が当日、出張等のためにポスター掲示のみを行う発表テーマ